

教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	文学国語	2	2年1組・2組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 標準文学国語
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

1	様々な文章を読む能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を身に付ける。
2	目的や場に応じた話し方や言葉遣いができる表現力を身に付ける。
3	課題に応じて、情報を活用したり話し合ったりする能力を身に付ける。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解している。
② 思考・判断・表現	文書の構成や表現に注意して、筆者の主張や作品の内容を理解することで自分の考えをまとめたり、深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立てて分かりやすく表現することができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	国語や文学作品に対する関心を持ち、国語を尊重するとともに、進んで表現したり理解したりして、国語力を高めようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	B	A	A	授業態度など
課題提出	B	A	A	指示した時期に提出
ノート提出	B	A	A	指示した時期に提出
定期考査	A	B	C	定期テスト、課題テスト

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	現代の小説（一） 「デューク」 現代の小説（二） 「ナイン」 現代の詩 「生命は」 「そこにひとつの席が」 「食事」 随想（芸術） 「花のいざない」	登場人物の心情を的確に捉え、場面ごとに変化する心の機微を考察する。 登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。 詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。 詩中の表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれている状況を読み取る。 比喩の構造や視点の転換を考察し、題名を意識しながら詩が提示するメッセージを考える。 日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。
2 学期	近代の小説（一） 「こころ」 戦争と文学（一） 「わたしが一番きれいだったとき」 「死んだ男の残したものは」	物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景をふまえ、作品に託された思いを読み取る。
3 学期	随想（芸術） 「真珠の耳飾りの少女」 読み比べ 「フェルメールの技を読む」	フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 対談形式の文章から、話者のフェルメールに対する向き合い方の特徴を読み取り、「真珠の耳飾りの女」との違いを考える。